

成年向
For Adult Only



加賀の姫 2

Presented by
夏雲ひまわり

・双子の見分け方&設定

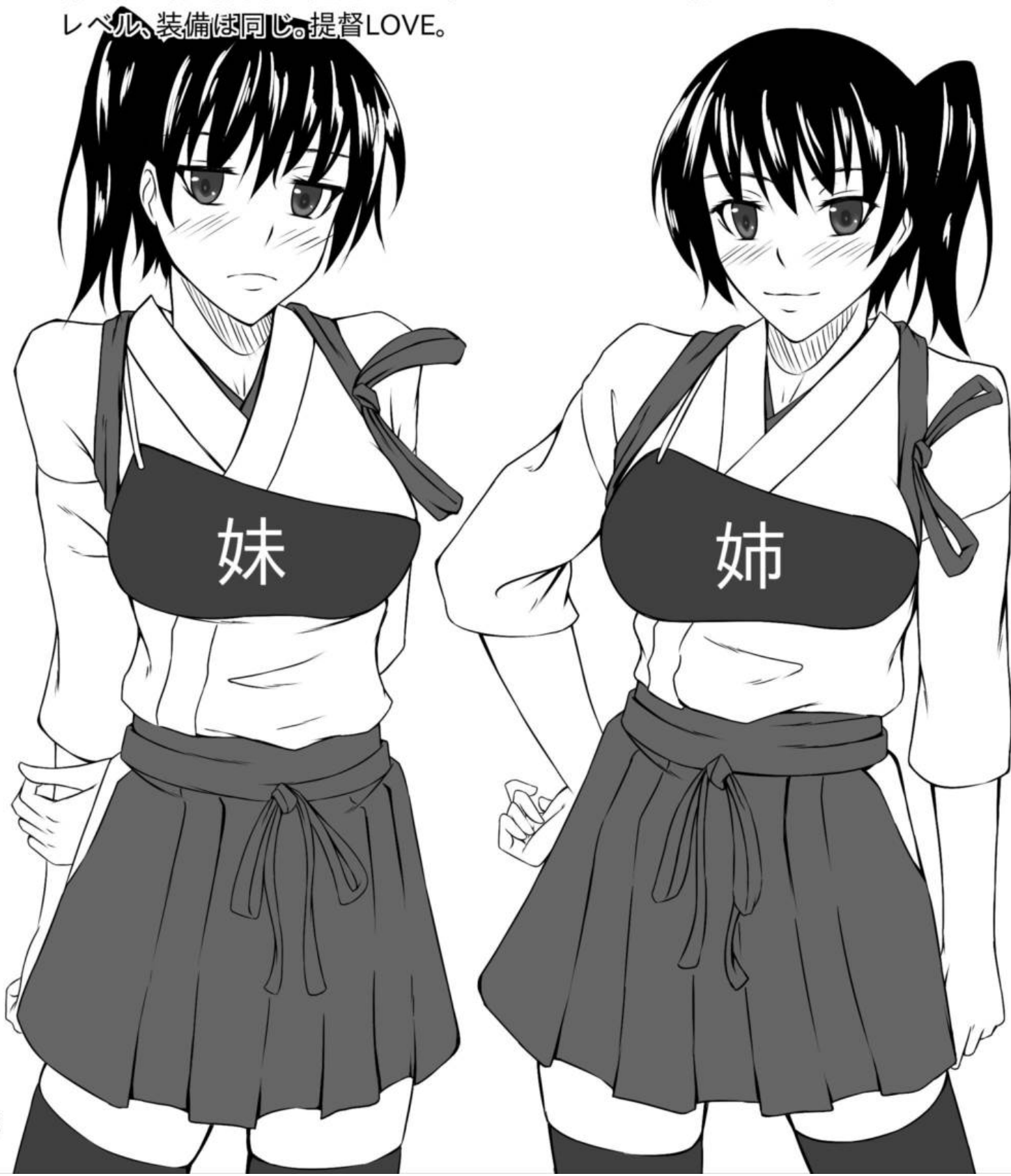
(姉)

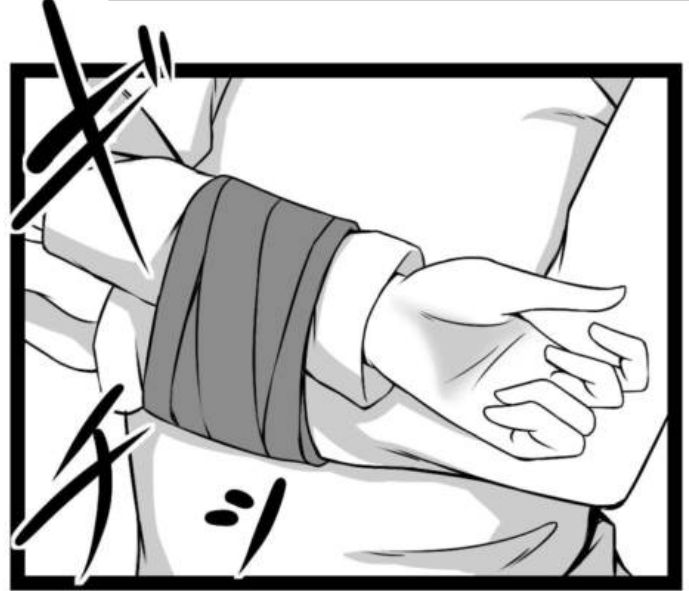
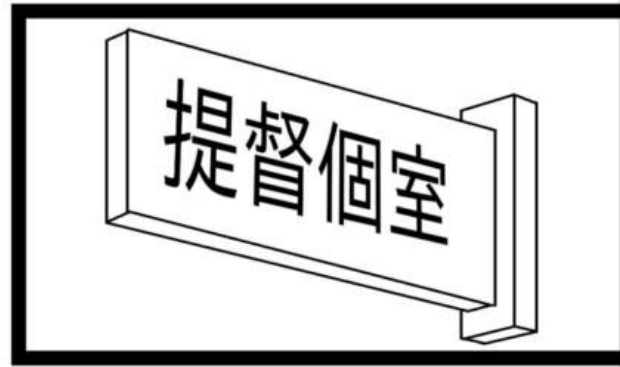
サイドテールが左、ツリ目、真面目、Mっ気が強い

(妹)

サイドテールが右、ジト目、マイペース、Sっ気が強い

姉の方が数時間早く建造された。お互いにライバル視している。
レベル、装備は同じ。提督LOVE。







五航戦の娘たちの
イラストばかり
じゃないですか！



ま：待て
エロ本くらい男なら
誰でも見るだろ…

アハハハ...



問題なのは中身です！



私というものがありませんが…
これは喧嘩を売っていると
解釈していいのかしら？



いや待て
これは本当に偶然で…

言い訳ですか：全く…。
これはお仕置きが
必要じゃないかしら？

あら珍しく気が合うわね。
私もそう思っていたところよ



今日は手なんか
使ってあげませんから…



あなたなんか
足で十分です…



おちんちん
足で踏まれる気分は
どうですか？

ふふっ
気持ちいいみたいです

大きくなってるのが
はっきり分かりますよ





ほら：
足でおちんちん
シコシコしてあげますね

あらあら
本当にもうピンピン…



そんなに
気持ちいいのかしら？



提督？
これはお仕置きなんですよ



息も荒くなって
きましたね…



それなのに
おちんちんこんなに
ピクピクさせて…



もっといじめたく
なってしまうます…



ふっ…
そんな姿見せられたら…



さあ提督…

アッ…



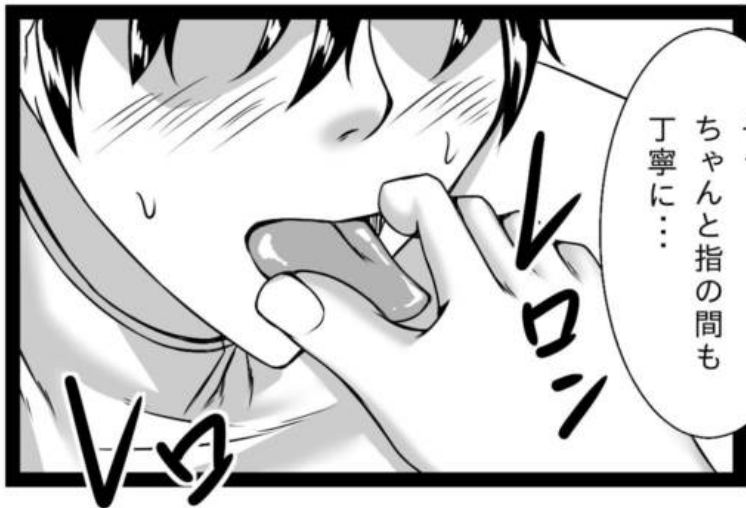
ハッ
ハッ



ハッ
ハッ



私の足：
舐めてください…



そう
ちゃんと指の間も
丁寧に…



あら
本当に舐めちゃう
だなんて…



ふふっ
とってもお上手ですよ

おちんちん
ビクンビクンって
激しくなってきましたね

いいですよ
我慢できなくなったら
出しちゃってくださいね

足を舐めさせられて
興奮しちゃったんですか？



あーあ
提督ったらこんなに
出しちゃって…



私のニーソックス
ベタベタに
なっちゃいましたよ



ふふっ
でもまだおちんちん
大きいままですね…



仕方ないですね：
それじゃあ提督には
もっと気持ちいいお仕置き
してあげます…

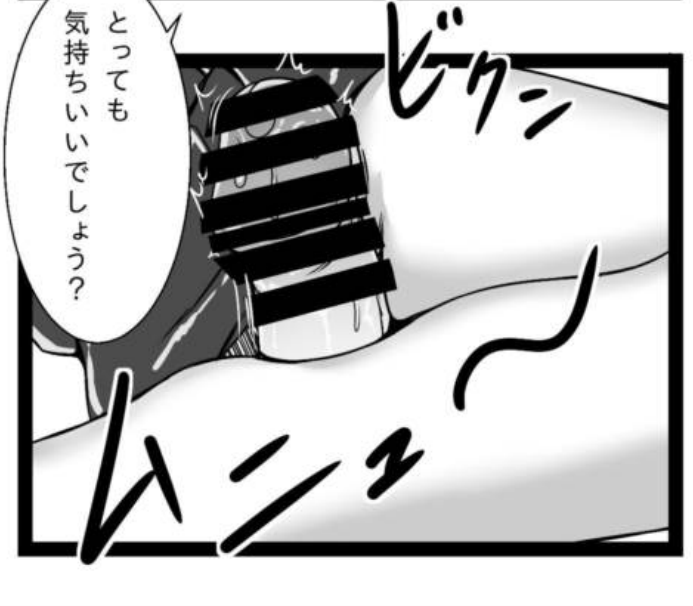


我慢しないで
声出していいんですよ
その方が
気持ちいいですからね…

くっ…あっ…



どうですか？
膝裏おまんこは…



とっても
気持ちいいでしょう？



さあ
これが何か分かりますか？

それでは私も
気持ちいいお仕置き
してあげますね。



今まで私が
左足にはいていた
ニーソックスです…



これを…





あっ…すごい…
おちんちんがビクンって…

今日一日分の汗を吸い込んで
すごくいい匂いでしょ？



どうですか？
私の脱ぎたてホカホカの
ニーソックスの匂いは…



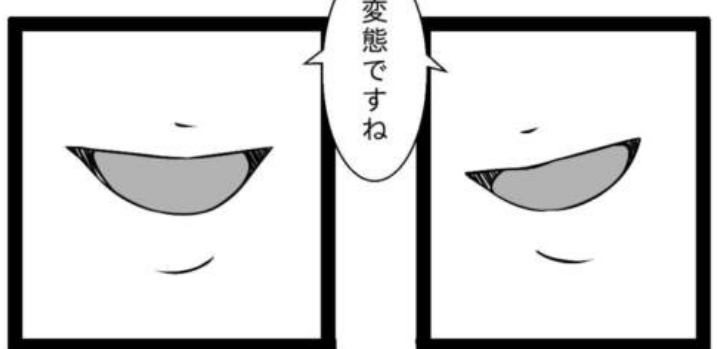
そろそろ
射精しそうなんじゃない
んですか？

いいですよ
私の膝裏おまんこに
いっぱい出してください



こんなことでも
興奮するなんて…

やっぱり提督って…



変態ですね



あっ：
すごい：一回目なのに
こんなにいっぱい…

あぁっ：精液
すごく熱い…

ふふっ：
満足できましたか
変態さん？

んんん
んんん



■あしがき

はじめまして。タカトラと申します。
この度は本を手にとって下さりありがとうございました。
今回も、前回の本に引き続き双子の加賀を
描かせていただきました。

さて今回、誰に望まれた訳でもないのに
シリーズ化してしまった訳ですが、
双子の見分けがつきにくいという点を改善してみました。
見分け方、簡単な設定など本の冒頭部分にまとめてあるので、
よろしければ目を通してみてください。

今回作業に取り掛かる時期が遅くなり、
薄い本にしても薄すぎる本になってしまい
尚且つかなり偏った内容になってしまいましたが
ご満足いただけただでしょうか？
少ないページ数でいろいろやるより
ひとつに絞ろうとした結果がこれですよ。
まさかニーソックス以外服を一枚も脱がないことになるとは
自分でも予想していませんでした。
まあこういう内容も面白いかなと思うので
個人的にはそれなりに満足しています。

それでは機会があればまたお会いしましょう。

■奥付

発行日:2015年1月18日
発行:夏雲ひまわり
発行者:タカトラ
印刷:株式会社ポプルス
ブログ:<http://natsugumo003.blog.fc2.com>
メール:natsugumo_himawari@yahoo.co.jp



Presented by
夏雲ひまわり